

# 大腸がん健診を受けましょう

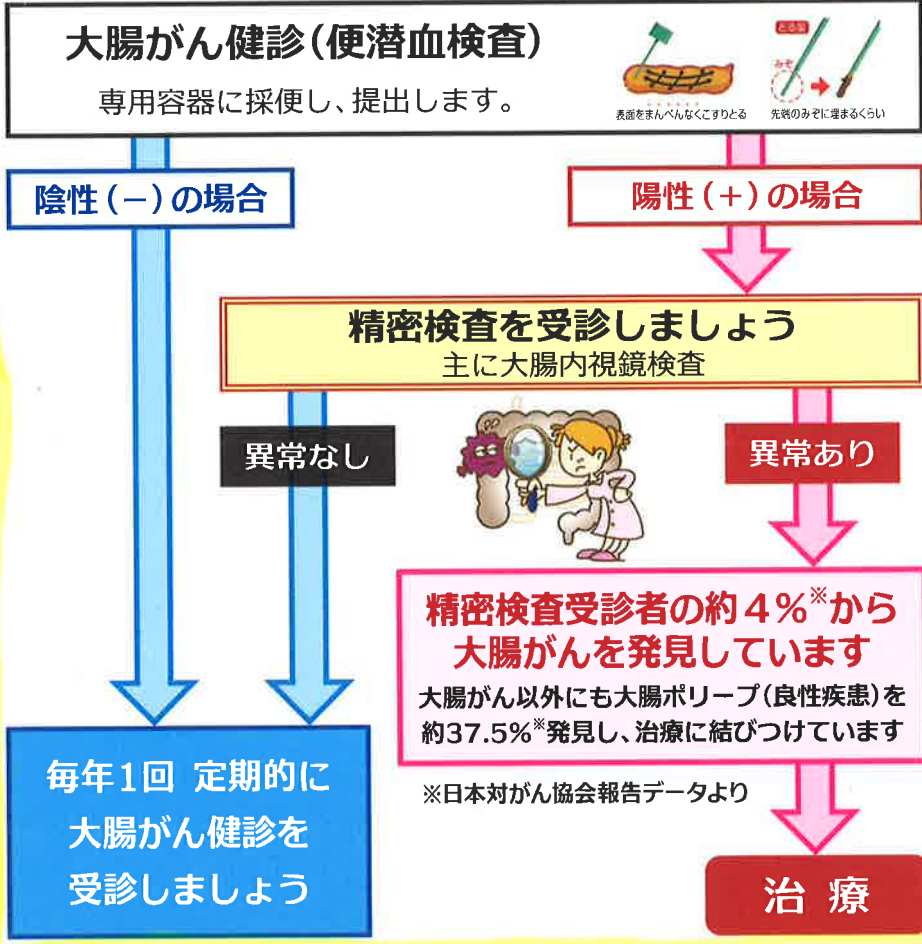
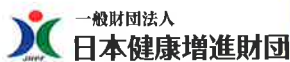
早期の大腸がんは、ほとんど症状がありません  
だから・・・健診で早期発見 を!!

自覚症状がある方は、がん検診を待たずに、すぐに医療機関で診察を受けてください。

2019年の  
予測では  
大腸がんの  
罹患数は  
男女計で  
第1位です。



出典  
2019年がん罹患数予測  
(2019年10月更新)  
国立がん研究センター  
がん情報サービス



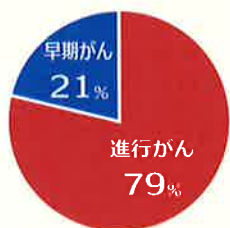
## 大腸がんは早期発見・早期治療で治ります



早期の大腸がんは自覚症状がなく、放置すると進行していきます。  
早期がんであれば治療により、90%以上が完治しますので  
健診結果が「陽性」判定の場合は、必ず精密検査を受けましょう。

早期の大腸がんは、ほとんど自覚症状がありません。  
自覚症状を感じてから病院で発見されるのは進行がんになっている事が多く、79%も占めます。健診で見つかったがんの60%は早期がんであり、健診の継続受診により、多くが早期の段階で発見できるようになります。

●病院で見つかった大腸がん

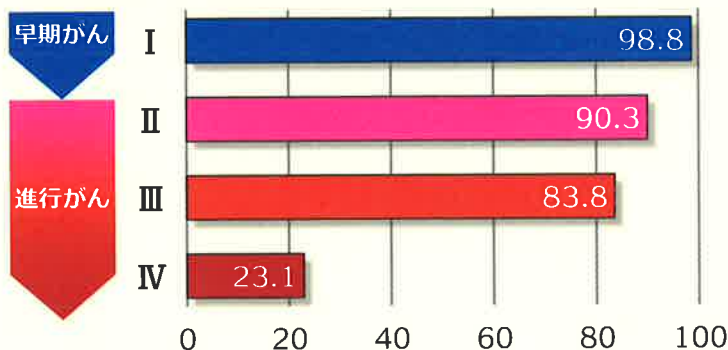


●健診で見つかった大腸がん



大腸がんは、進行していくと5年生存率は著しく低下しますが、早期発見、早期治療ができれば、生存率を高く維持することができるがんです。発見が早いほど治療の選択も多く、痛みや負担の少ない治療で治すことができます。

●大腸がんの進行程度による5年相対生存率 (%)



出典 厚生労働省 大腸がん集団検診の組織化に関する研究

出典 全国がんセンター協議会の生存率共同調査 (2020年3月集計)